

「第1回大阪府内中国語スピーチ・朗読コンテスト」参加者の募集

関西外国語大学孔子学院では、以下の要領により「第1回大阪府内中国語スピーチ・朗読コンテスト」を実施します。ふるってご応募ください。

1、応募（出場）資格

大阪府内に在住の方（大阪府内に勤務、在学の方を含む）、または関西外国語大学学生。【中国語を母語とする人は応募できません。】

2、演題

第1部門（※）：本人作成原稿の朗読（テーマは中国に関するもので、5分以内とする。）

第2部門：指定課題原稿の中から自由選択したものの朗読（課題原稿の問合せは本学孔子学院事務局まで。）

第3部門（※）：本人作成原稿によるスピーチ（テーマは中国に関するもので、3分以内とする。）

※「関西外国語大学孔子学院作文コンクール2015」応募者の作文コンクール出品による本コンテストへの重複応募も可能です。希望される場合は、別途応募の手続きをしてください。【下記の4、応募方法（提出先）を参照。】

3、日時・会場

平成28年1月27日（水）午前10時開始（出場者は午前9時45分までに集合してください。）

関西外国語大学 学研都市キャンパス【会場はコンテスト当日に発表予定。】

4、応募方法（提出先）

第1部門と第3部門の応募者は、A4縦の用紙に、タイトル、氏名（関西外国語大学学生は学籍番号も併記）、連絡先〈現住所・電話番号〉及び朗読・スピーチ原稿本文をワード等で入力しプリントアウトしたものを下記本学孔子学院事務局（同大学・学研都市キャンパス本部棟3階）宛に郵送・提出するか、または学研都市キャンパス学務課（担当：山本）に提出してください。第2部門の応募者は、A4縦の用紙に氏名（関西外国語大学学生は学籍番号も併記）と連絡先〈現住所・電話番号〉を記載し郵送・提出してください。

5、募集期間

平成27年12月22日（火）午後5時まで。

6、審査

審査基準は①発音②声調③イントネーション④正確さ⑤熟練度（総合的運用能力）とし、3つの部門ごとに審査を行います。

7、表彰

3つの部門ごとに表彰します。

1等賞：1名（副賞 10,000円の図書カード）

2等賞：2名（副賞 5,000円の図書カード）

3等賞：4名（副賞 1,000円の図書カード）

<お問い合わせ・応募先>

関西外国語大学孔子学院事務局 スピーチ・朗読コンクール係

〒573-00195 大阪府枚方市穂谷1-10-1

TEL072-858-0043 FAX072-858-3556

E-mail:kongzi@kansai.gaidai.ac.jp



第1回大阪府内中国語スピーチ・朗読コンテスト参加エントリー用紙

出場者	ふりがな		西暦	
	氏名	男・女	生年月日	年 月 日生(歳)
	住所	〒 —		
	電話番号	() —	※携帯電話など必ず連絡の取れる番号をご記入ください ※電話に出られる時間帯(AM・PM : ~ :)	
	E-mail	@ ※—(ハイフン)と_(アンダーライン)、1(数字)とl(英字)、0(数字)とO(英字)など記号や文字が判別できるようにご記入ください。		
	学校名 会社名	※関西外大生は学籍番号を記入してください	出場	第1部 ・ 第2部 ・ 第3部 ※下欄の演題も忘れずにご記入ください
	中国語 学習歴	学習歴 例)2年3ヶ月	学習方法 大学の授業	留学歴 北京で半年
演題	第1部	タイトル:		
	第2部	選択した原稿:		
	第3部	タイトル:		

参加資格	<input type="checkbox"/> 中国語を母語としません <input type="checkbox"/> 上記の申告に相違ありません
------	---

※本エントリー用紙はコピー可です。

※エントリー用紙にご記入いただいた内容は、今回のコンテストの受付及び連絡にのみ使用します。



我喜欢彩虹般的秋天

有人喜欢百花盛开的春天，有人喜欢骄阳似火的夏天，有人喜欢大雪纷飞的冬天。而我，喜欢瓜果飘香、红叶满山的秋天。

秋天是丰收的季节，果园里瓜果馨香。红通通的苹果、黄澄澄的雪梨、紫莹莹的葡萄。

秋天像一幅美丽的图画，美丽的景色永远地映画心中。我爱秋天，更爱美丽收获的季节！

春天是绿色的，冬天是白色的，那秋天是什么颜色的呢？让我们一起去大自然寻找答案吧！

树叶黄了，风儿轻拂，下落的秋叶飘飘扬扬，仿佛正在飞舞的彩蝶。树林里遍地金黄，落叶像似大地铺上了黄色的绒毯，踩着惬意。

田野里金黄的稻子，笑弯腰黄澄澄一眼望不到边，亦似金子铺满地。哦！秋天是金黄色的。

果园的苹果，却红艳艳像似枝头挂灯笼；大枣沉甸甸挂在枝头，也像一颗颗红色的宝石；地里的高粱也涨红了小脸蛋……哦！秋天是红色的。

一串串紫色的葡萄，像一颗颗晶莹的玛瑙，在阳光下闪闪发着亮光。哦！秋天是紫色的。

——我知道了，秋天不是单色调，秋天是五颜六色的，就像那美丽的彩虹。

童年

在日本、在中国……

童年，都是并不陌生的字眼，

在那里，蕴涵着梦想、纯真、美好、幸福……

金子般的童心，远离纷争，向往无邪。

无可置疑，每一个人都曾向往过美好的童年！

人们用最美好的词语和色彩，渲染人生无上宝贵的童年。

草地上的嬉闹，操场角落里的悄声细语……

道道彩虹，缕缕童真……用什么点缀去而不返的童年？

语言苍白……童年留下人生最最宝贵的回忆。

无以描摹记忆的色调。拾起一片落叶，童年珍藏！

童年的记忆，化作成长的诗篇！略略地带着苦涩。

瞬间的美好时光，拨动了心灵的琴弦……

谁能谱写一页光辉，撞击心扉……

短暂而动人的旋律，连带童年的琴弦，余音袅袅！

童年不染世俗痕迹，蓦然回首，清晰依然的足迹……

童年是彩色的，童年的梦则是金色的！

小象与小猪

一只小象出门旅行，在路上碰到了同样旅行中的小猪。

小象看着小猪，忍不住哈哈大笑说：

“你的鼻子那么短，真是太好笑了，太差劲了，哈哈。”

小猪反驳道：

“笑个P啊，你鼻子那么长，就象脸上长了条腿似的，还笑呢。”

两个小家伙互相嘲笑着前行，继续他们的旅程。

他们来到了一颗苹果树前，又红又大的苹果挂满了树冠膨大的苹果树。

两个小家伙不禁口水横流，垂涎三尺。小象来到树下，用他的长鼻子轻松地将苹果击落下来。他俩开心地吃了起来。

小猪边吃边说：

“原来你的鼻子也不是那么讨厌嘛，嘿嘿。”

吃完苹果，他们继续前行。走着走着，他们来到了一块番薯地。

小猪说：

“看我的。”

说完，小猪用他的鼻子去拱地，拱啊拱啊，把埋在地下的番薯都拱了出来。

于是他俩又开心地吃起来。

小象边吃边说：

“……原来，你那难看的短鼻子也不是那么差劲嘛，哈哈。”